

## 金融経済概況

### 【全体感】

道北地域<sup>1</sup>の景気は、基調としては緩やかに持ち直しているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

すなわち、最終需要の動きをみると、個人消費はやや弱めの動きとなっている。観光は新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直しているが、住宅投資は減少している。

一方、労働需給は引き締まっているほか、金融面では、預金、貸出とも前年より増加している。

### 【各論】

#### 1. 需要項目別動向

個人消費については、ばらつきはみられるが、全体としては、やや弱めの動きとなっている。

主要大型店は、やや弱めの動きを続けている。また、乗用車販売も、振れを伴いつつも、やや弱めの動きとなっている。

観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱めの動きとなっている。

旭川地区のホテル客室稼働率はこのところやや前年を下回って推移している中、ホテル・旅館宿泊客数は振れを伴いつつも概ね回復基調、観光客の入れ込みも振れを伴いつつも概ね堅調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱めの動きとなっている。

公共投資は持ち直している。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、持ち直している。

住宅投資は減少している。

---

<sup>1</sup> 道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内のことをいう。

新設住宅着工戸数をみると、持家はこのところ幾分持ち直している。分譲は振れを伴いながらも横這い圏内の動きであるほか、貸家は概ね減少基調にある。

## 2. 業種別動向

第一次産業では、生乳は出荷が増加している。オホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）の水揚げは、持ち直している。

第二次産業では、製材は減少しているが、紙・パルプはこのところ増加している。

## 3. 雇用・倒産動向

労働需給は、引き締まっている。

有効求人倍率（常用＜旭川、北見、稚内、網走＞）は、引き続き高水準で推移している。新規求人数（同）も、概ね増加している。

倒産件数は、落ち着いている。

## 4. 金融動向

預金残高は前年より増加している。

貸出残高は前年より増加している。

旭川市内金融機関の貸出約定平均金利（総合）は、前月より上昇した。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <https://www3.boj.or.jp/asahikawa/>